

平成 30 年度 第 3 回 静岡県作業療法士会理事会 議事録

1. 開催日時 平成 30 年 8 月 25 日 午後 12 時 55 分～17 時 32 分
2. 開催場所 公益社団法人 静岡県作業療法士会事務局（静岡市葵区昭和町 9-5 第二大石ビル 8F）
3. 出席者
理事総数 15 名
出席理事 10 名
代表理事 秋山 恭延（議長）
理 事 梶原 幸信 岩井 幸治 大庭 俊裕 岡庭 隆門 大石 裕也 林 正春
村岡 健史 岡本 博行 伊井 玄
監 事 小笠原 誠
4. 決議・審議事項
第 1 号議案 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会について（報告第 4 号参照）
第 2 号議案 部局再編成の件（進捗）
 - ①WG を SIG に一本化する案が出た（部局サイドとしては承認）。
SIG がない団体（運転、認知症など）は新たに SIG を作る方向。⇒ 承認
 - ②事業部と地域活動推進部の合併については、各地区のバランスが取りにくいいため統合すべきという案。両者の機能は残すが、徐々に機能も組織力が高まるように進める。
⇒ 承認。名称を理事会案として「地域事業部」とし部内で検討。
予算立ては統合した形で提出。WG は SIG として学術部で予算立て。各 SIG 縦割りの会計処理にして一人の負担を減らす。
 - ③渉外部に企画調整課を設けた。運用面で事前に企画調整し理事会で諮り効率化を図る。
第 3 号議案 臨床実習指導者研修会（中・上級） 県士会推薦枠の件
推薦者は各士会での研修会にて講師を務める要件あり。
担当部局は教育部とする。推薦者の選定は分野や多数の養成校の実習受け入れしている施設など教員ではなく臨床者を選定。部員とするかは要検討。
第 4 号議案 外部団体からの委員、会議、式典出席の依頼について（事務局）
 - ・浜松市介護認定審査会委員の推薦（小笠原紀子氏、建木健氏、小坂幸子氏、成田光子氏）
 - ・浜松市社協 健康サポートボランティア養成講座講師の推薦
⇒ 鈴木達也氏（聖隷クリストファー大学）
 - ・H30 年度「障害を理由とする差別解消推進県民会議」参加者（9 月 3 日）（遠藤浩之氏）
 - ・第 2 回高次脳機能障害者の自動車運転再開に関する検討会議（建木健氏、大塚幸二氏）
 - ・PT 士会菊池氏より、他職種連携をテーマに安心安全なケアの実現に向けて看護師中心の倫理ケアネットを定期開催している。（菊川・磐田地区開催を大庭理事参加）
第 5 号議案 チャレンジ事業申請への協議
乗馬体験 ⇒ 承認
ボッチャクラブ ⇒ 事業部の再審待ち。対峙する体制ではなく主導的で教育的な体制で支援する。
第 6 号議案 各部局から
 - ・地域活動推進部（中部地区）：各施設の管理職同士のつながりがあっても良いか。
1 日研修会等の開催、リーダー育成研修会への参加等
⇒ 実態調査や他部との協働、他職種との合同開催等検討が必要
その他（各部局からの決議事項）
 - ・第 19 回東海北陸学会事務局より（学会用のオンラインストレージのレンタルの件）
⇒ 保留。使用ユーザー数を要検討。経費は学術部で良いか確認。広報部のホームページ内でのフォルダの共有が可能。それを踏まえて検討。
 - ・東海北陸リーダー育成研修会出席者の推薦（申込み締切り 10 月 31 日）
鈴木亮太氏（沼津リハ）、SIG より 1 名、地域活動推進部より 1 名、教育より 1 名
福祉部より 1 名
 - ・MTDLP：尾崎委員長（演習講師）とファシリテーターの講師料についてパターン 2 で承認

- ・学校を理解して支援できる OT 育成研修会の講師決定。研修会のみ経費が必要。各事業の戦略が WG に委ねられ、県士会との協働が少ない。企画調整課での審議が必要。学校先生への研修会は、一方的な活用だけでなく相手の状況も踏まえて考えていく必要がある。
- ・法人管理委員会：遊休財産を減らす方法を検討したい
 - ①学会参加費を下げる（会員に還元する）
 - ②特定資産準備資金として新事務所を取得する
 - ⇒ 持ち越し審議（数字の根拠を出し検討）。来年度予算に間に合うように進める。

5. 報告事項

- 報告第 1 号 第 31 回静岡県作業療法学会
- 報告第 2 号 第 19 回東海北陸作業療法学会
- 報告第 3 号 各部報告（職務執行状況の報告）
- 報告第 4 号 その他
- 報告第 5 号 第 3 回理事会開催日

6. 開会

事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）

報告第 1 号 第 31 回静岡県作業療法学会

経費 70 万円の赤字（両日・一日参加で費用を分けたことが原因の一つ）

予算立ての段階で準備資金は返納するという認識か学会への支出という認識か。

非参加者の学会誌代分を県士会から支出するという具体的なルールが必要。 ⇒ 継続審議

報告第 2 号 第 19 回東海北陸作業療法学会

講師の選定中。10 月には報告出来る予定。開催日は 11 月 16 日(土)・17 日(日)

報告第 3 号 各部報告（職務執行状況の報告）

渉外部：前回台風により中止の OT 協会 47 都道府県委員会は 10 月 7 日(日)開催決定。出席予定。

教育部：MTDLP の資料購入代は各参加者が買うようにと昨年度監事より指摘があったが、今年度、50 冊購入している。稲葉理事に確認。

事業部：作業体験デーでのケーシー試着体験の提案（稲葉）。

⇒ 審議事項として事業部へ検討を依頼。学校でレンタルできるか相談する。

広報部：広報誌 131 号への資料掲載の優先順位を検討のために資料提供の呼びかけ。

一般広報誌第 3 弾、設置場所確保のため、会員への周知を徹底。

OT カルタ、一般貸出し向けの郵送代は広報部負担。来年度以降、数が増える場合検討。

地域活動：平成 30 年 JAOT 主催の認知症作業療法推進委員会へ出席の学術部部員、石切山淳一氏の交通費は県士会負担。

アップデート研修 中部地区の開催は、今後検討。

平成 30 年度地域包括ケア会議・総合事業参加活動報告。件数 4 件。報告者 3 名。

来年度より WG を学術部 SIG の予算で活動。

OT のドライブマネジメント。各地区の指導や基準についての取りまとめが必要。

災害対策：12 月 1 日(土)静岡災害リハビリテーション研修会の会場は静岡労政会館。

事務局：来年度の会員数予測：1,552 名⇒1,555 名。殆ど伸びない見込み。

報告第 4 号 その他

①介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会について

協会の手上げ事業として各県で実施。協議会会長は県士会長。

7 月 15 日に事業説明会、8 月 5 日キックオフミーティング開催、9 月 24 日第 1 回協議会開催。

今後理事会時に報告。目標値は設計までとして 3 月に報告会がある。

②HP のカレンダーの日時表示の不具合。業者に修正を依頼。

報告第 5 号 第 3 回理事会開催日：第 1 候補 10 月 14 日（日）、第 2 候補 10 月 20 日（土）

平成 30 年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第 1 回	4 月	15 日 (日)	新人オリエンテーション時	
第 2 回	6 月	30 日	拡大理事会	
第 3 回	8 月	25 日	納涼会	
第 4 回	10 月	14 日		
第 5 回	12 月	1 日、8 日、15 日、22 日	拡大理事会、忘年会	
第 6 回	2 月	9 日、16 日、23 日		2 日 (47 委員会)
臨時理事会	3 月	23 日 (土) or 24 日 (日)	年度末の会計	

8. 議長は以上をもって議事は終了した旨を述べ、午後 17 時 32 分、閉会を宣言した。
 以上の決議を証するために、この議事録を作成し、議事録署名人が署名・押印をする。

議事録作成者 武内元